

## 目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の内容	1
3. 調査の設計	1
4. 回収結果	1
5. 報告書の見方	2
II 調査対象の概要	3
III 調査から見た「男女共同参画社会基本法」制定以降の意識の変化	5
1. 男女の役割分担意識	5
2. 結婚・家庭・離婚・夫婦別姓等についての考え方	6
3. 家庭での仕事の役割についての考え方	8
4. 各分野・社会全体における男女の地位の平等意識	10
IV 調査結果	13
1. 男女の役割分担意識や家庭観について	13
(1) 「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識	13
(2) 結婚・離婚・夫婦別姓等についての考え方	16
(3) 家庭での仕事の役割についての考え方	35
(4) 男女がともに家事、子育て、介護、地域活動などに参加するために必要なこと	50
2. 男女の地位の平等などについて	53
(1) 各分野・社会全体における男女の地位の平等意識	53
(2) 男性の方が優遇されていると思う原因	78
3. 女性の参画について	81
(1) 今後女性が増える方がよいと思う役職	81
(2) 政策・方針の決定にかかわる役職に女性の進出が少ない理由	84
4. 女性の就労について	87
(1) 女性が職業をもつことについての考え方	87
(2) 女性の就労環境の現状評価	92
(3) 女性が働きにくい理由	96
5. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について	99
(1) 仕事の有無	99
(2) 仕事の継続に対する不安	102
(3) 働いていない理由	105

(4) 仕事をやめたり、中断したり、転職した理由	108
(5) 男女がともに「仕事と生活の調和」を図るために必要なこと	112
<b>6. 男女平等教育について</b>	115
(1) 学校教育における男女平等教育の現状評価	115
(2) 学校教育において男女平等を推進していくために必要なこと	119
<b>7. 人権について</b>	123
(1) 配偶者(同居しているパートナーを含む)や恋人の有無	123
(2) 配偶者や恋人関係にあった者から受けたことのある行為	124
(3) 命の危険を感じたこと	130
(4) 子どもの目撃	136
(5) 配偶者からの暴力についての相談先	137
(6) 配偶者間暴力への取り組みとして必要なこと	140
(7) メディアでの性別による固定的な役割分担の表現や女性に対する暴力、 性の表現の現状認識	145
(8) 女性にとっての「生涯を通じて性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)」 の重要性	149
(9) 男女間の暴力を防止するために必要なこと	152
<b>8. 介護について</b>	156
(1) 家族の介護を行うことについての考え方	156
(2) これからの家族の介護のあり方	159
<b>9. 男女共同参画の推進について</b>	162
(1) 男女共同参画社会の実現のために行政が力を入れていくべきこと	162
(2) 見たり聞いたりしたことのある言葉	165
(3) 男女共同参画推進センターの認知度、利用の有無	168
(4) 男女共同参画推進センターに期待する役割	171
 <b>V 自由記述意見</b>	 175
 <b>VI 調査票</b>	 201